

## 認定こども園さくら保育園 園訪問報告書

対象施設	認定こども園さくら保育園
実施日時	令和2年7月30日(木) 午前10時00分～12時10分 令和2年8月17日(月) 午前10時00分～11時30分 令和2年8月25日(火) 午前10時00分～12時00分 令和2年9月8日(火) 午前9時50分～11時40分 令和2年9月17日(木) 午前10時00分～11時50分 令和2年10月5日(月) 午前10時00分～11時35分
実施者	こども施設課(重尾・西川) 保育アドバイザー(木下・山田)
<p>&lt;園の雰囲気&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゆったりと子どもに接して穏やかに保育が行われている。</li> <li>• 子どもも保育者も笑顔が多い。</li> </ul> <p>&lt;職員体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 園長のリーダーシップのもと、園務分掌に則り、日々の業務を着実にやっている。</li> <li>• 主幹保育教諭が2名配置されており、園長を補佐し、保育のリーダーとしての役割を果たしている。</li> <li>• フリー職員も十分配置されているので、活動によって応援体制がとれている。</li> </ul> <p>&lt;保育内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 月案・週案を立て、子どもたちの様子や姿を捉えながら、ねらいをもって日々の保育に取り組んでいる。</li> <li>• 子どもの興味のあるものや発達を踏まえて、日々試行錯誤しながら保育をしている。</li> <li>• 園内研究を実施して資質向上につなげている。</li> <li>• 園庭開放や一時預かり事業を実施し、定期的な利用者もいる。</li> </ul> <p>&lt;職員間の連携、コミュニケーション&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝達することは、全職員が目にする場所(出勤簿の横)にノートを置き、共通認識ができるようにしている。</li> <li>• 声をかけあい、連携が取れている。</li> <li>• 全職員が出勤する日を話し合いの時間や保育の準備時間に活用している。</li> <li>• 担任から主幹保育教諭、園長の流れを基本として、課題解決に取り組んでいる。</li> </ul> <p>(会議について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企画会議(各年齢の代表、主幹保育教諭、園長) → 各職員へ伝達する。</li> <li>• 職員会議(企画会議の1週間後に実施)</li> <li>• 全員出勤日(基本、土曜日)に全体会議を実施している。</li> <li>• 週に1度、午睡中に代表者で打ち合わせをしている。</li> <li>• カリキュラム会議</li> </ul>	

<安全対策・危機管理・苦情解決>

- 計画書やマニュアルが作成されている。

(保健安全計画、避難訓練年間計画、水遊び・プールでの注意、けが等の対応マニュアル)

- 新型コロナウイルス感染予防で、消毒液を玄関、各保育室に設置し遊具、廊下や階段の手すり、扉の取っ手など定期的に消毒している。職員は毎朝検温、マスクを着用して保育をしている。子どもも体温測定をしている。一時保育は、門で対応している。(体調、体温)
- 要望や苦情に対しては、担任→主幹保育教諭→園長という担当の流れにそって解決にあたるが、今のところは大きなトラブルはない。

<今後、確認していきた事項>

- 園児の人数が増えたときの職員間の連携やコミュニケーションの取り方。
- 子どもの姿を見取り、発達を踏まえた保育の工夫。